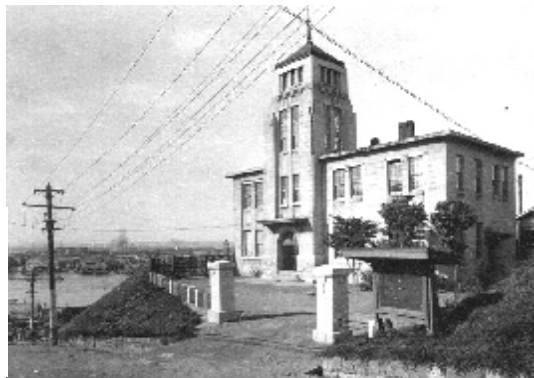



大正15年・昭和元年(1926)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>30 栗林商会釧路出張所が三上運送に業務譲渡して閉鎖される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 春採湖で釧路スケート協会主催の第1回児童スケート大会が開かれる。 釧路産牛馬畜産組合音別支部が設置される。 	<p>15 京都学聯事件に治安維持法発適用</p>
2	<p>1 臨港鉄道の春採―臨港間で旅客営業が始まる。(沼尻・米町・真砂町の各停留場を設置)</p> <p>27 増税反対釧路市民大会が開かれ、約1千人が参加する。</p>	<p>13 日本労働組合評議会北海道地評発足</p>
3	<p>10 妙本寺の寺号公称が許される。</p>	<p>28 北海道製酪販売組合联合会(酪聯)設立</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 三上幹部で労組加入33名の解雇撤回闘争が起こる。 	
5	<p>22 尺別炭砦々員住宅5棟50戸が火災で焼失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨港鉄道の観月園停留場が設置される。 雄別鉄道の富士製紙釧路工場専用測線(鳥取測線)が開通する。 市営給水岸壁(南埠頭)の埋立て・築造が着工される。 	<p>1 北海道初のメーデー実施</p> <p>22 十勝岳大噴火、死者・行方不明144人</p>
6	<p>15 鳥取第1小に富士製紙の鳥取工業実技学校が併置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音別信用購買販売組合が設立され、製酪所を設置する。 	<p>22 道庁、酪農奨励規則公布</p>
7	<p>1 各小学校に青年訓練所が併設される。</p>	<p>1 青年訓練所令施行</p>
8	<p>25 釧路労働組合が日本労働組合評議会釧路合同労働組合となる。</p>	<p>20 (社)日本放送協会設立</p>
9	<p>1 北防波堤灯台(白灯台)が初点される。</p> <p>18 金光教が浦見町から宮本町に移転する。</p>	<p>6 労働農民党北海道支部联合会発足</p>
10	<p>1 釧路健康保険署(後の社会保険事務所)が西幣舞に設置される。</p> <p>5 普通選挙により、第2回市会議員選挙(定数30名)が実施される。</p> <p>20 雄別鉄道の穂弥平(後の山花)駅が開業する。</p>	
11	<ul style="list-style-type: none"> 第3回明治神宮体育大会(第10回から明治神宮国民体育大会)で北海道青年部(釧路勢が中心)が総合優勝する。 	<p>25 庁立図書館開館式(札幌)</p>
12	<p>3 西幣舞の民家から出火し、駅前付近の81棟、121戸が焼失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一条迷洋らの短歌雑誌『白楊樹』が創刊される。 釧路警察署が現幣舞公園に移転・新築される。 <p>【釧路警察署】 S23年釧路市警察署となり、市警は翌年黒金町へ移転。後、道警釧路方面本部(右)となって、S46年解体後幣舞公園になる。</p>	<p>16 全日本農民組合同盟北海道同盟発足</p> <p>25 大正天皇崩御、「昭和」と改元</p>
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 釧路港第1期修築工事が竣工する。 千葉県出稼ぎ者によるイワシ旋網漁業が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全道的に大正2年以來の凶作 全国で同盟罷業469件・63,644人参加、小作争議2,751件・151,061人参加



昭和2年(1927)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路市水道(鶴ヶ岱)浄水場が完成し、給水が開始される。</p> <p>【鶴ヶ岱浄水場】 別保川左岸を取水口とし、最大8,767m³/日を給水した。</p> 	
3	<p>・ 初代道庁鉄道部長田邊朔郎が、道内の鉄道1,000マイル達成を記念し、春採公園(後に幸町公園へ移設)に記念碑を建立する。</p>	<p>7 北丹後地震(M7.3)、死者3,589人</p> <p>15 銀行取付け等、金融恐慌始まる</p>
4	<p>6 徹別郵便取扱所(後の徹別郵便局)が設置される。</p> <p>・ 音別製酪所が「クローバーバター」等の生産・販売を始める。</p> <p>・ 市立釧路実科高等女学校が開校する。</p>	<p>5 商業会議所法廃止、商工会議所法公布</p> <p>18 蒋介石、南京国民政府樹立</p> <p>22 3週間のモロトリアム(支払猶予)実施</p>
5	<p>1 釧路で初めてのメーデー行進が行なわれる。</p> <p>1 第5回音別村会議員選挙が実施される。(定数12名)</p> <p>10 鳥取村と舌辛村で第3回村会議員選挙が実施される。(各定数10名)</p> <p>21 金毘羅院の寺号公称が許される。</p>	
6	<p>7 岡本市長が辞職する。</p>	<p>1 憲政会・政友本党合同、立憲民政党結成</p>
7	<p>1 更科源蔵らの詩誌『港街』が創刊される。</p>	
8	<p>21 酒井隆吉(前樺太庁内務部長)が第3代市長に選出される。</p> <p>・ 電灯料値下期成会が結成され、電灯料金値下げ運動が始まる。</p> <p>・ 白楊樹社が歌集『新人パンフレット』を出版する。</p>	<p>3 第1回都市対抗野球、神宮球場で開催</p>
9	<p>14 釧路カトリック教会の献堂式が行われる。</p> <p>15 釧網線釧路(別保信号所)一標茶間が開通する。</p> <p>・ 雄別炭砒で蒸気機関に加えて電力が導入され、雄別の炭住街に電灯が点り、採炭設備も大幅に機械化される。</p>	
10	<p>12 「情の宿」が釧路養老園(後の長生園)と改称される。</p> <p>21 阿寒国立公園期成会の前身となる釧路保勝会が発足する。</p> <p>・ 第二小学校(後の寿小)が新築落成する。</p>	<p>1 北海道1級・2級町村制施行(1級町村への府県町村制準用、普通選挙制等)</p> <p>・ 富山で電灯料値下運動開始、全国化</p>
11	<p>29 上音別拓殖医として女医(万沢ヨシ)が着任する。</p>	<p>12 三菱美唄炭砒ガス爆発、死者39人</p>
12	<p>1 仁々志別原野道路(穏弥平—仁々志別原野西42線)が全通する。</p> <p>・ 北海道拓殖軌道雪裡線(新富士—中雪裡)が開通する。</p>	<p>3 山川均・堺利彦・荒畑寒村ら『労農』創刊</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 釧路港第2期修築工事が着手される。(昭和16年竣工予定)</p> <p>・ 漁船動力化が進展し、内燃機関修理・製造工場が出来始める。</p> <p>・ 全道少年野球大会釧路予選会が開催される。</p> <p>・ 東北北海道卓球大会が釧路で開催される。</p>	<p>・ 北海道第1期拓殖計画終了、第2期拓殖計画実施</p> <p>・ 産児制限・不況で出生人口大幅減少</p> <p>・ 全国で同盟罷業346件・43,669人参加、小作争議2,052件・91,336人参加</p>



昭和3年(1928)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路商工会議所が釧路商業会議所を改組して発足する。</p> <p>15 釧路スキー倶楽部が発会式を兼ねて第1回釧路スキー大会を開く。</p> <p>24 釧路郵便局舎が州崎町(現南大通5丁目)に新築され、竣工する。</p>  <p>【釧路郵便局】 煉瓦色の「市内筆頭の近代的ビルディング」で3月21日から移転後の執務を開始した。</p> <p>・阿寒湖漁業組合が設立され、ヒメマス・アメマス等の養殖を始める。 (翌年、西網走湖のワカサギを阿寒湖へ移植する)</p> <p>・釧路中学校文芸部の機関誌『山脈』が創刊される。</p>	<p>12 大相撲、ラジオ中継開始</p> <p>23 日ソ漁業条約調印</p>
2	<p>20 衆議選道5区で、木下成太郎・三井徳宝・小池仁郎・前田政八が当選する。</p>	<p>1 日本共産党中央機関紙『赤旗』創刊</p> <p>20 普選法で初の総選挙、政友217・民政216・無産諸派8</p>
3	<p>2 釧路新聞(第2次)が夕刊を発行し始める。</p> <p>15 共産党一斉検挙により、釧路では奥林市蔵・島田清・武本実三郎の3名が家宅捜索を受けて検束されたが、翌朝放免となる。</p> <p>25 釧路で全道社会民衆党支部代表者会議が開かれる。</p>	<p>15 治安維持法により全国で1,600余名逮捕、内488名が共産党員として起訴(3.15事件)</p> <p>25 全日本無産者芸術聯盟(ナップ)結成</p>
4	<p>12 音別村会議員補欠選挙が実施される。(1名)</p>	<p>10 日本商工会議所設立</p> <p>10 労農党・評議会・無産青年同盟に解散命令</p>
5	<p>10 音別第二小附属上音別教授所が上音別尋常小学校となる。</p> <p>20 道議補選(前田衆議の欠員)で林田則友が当選する。</p>	
6	<p>1 第十二銀行(昭和18年に北陸銀行)釧路支店が開設される。</p> <p>17 第13回官民連合運動会で仮装行列が初めて市内をパレードする。</p>	<p>4 張作霖爆殺(満州某重大事件)</p>
7	<p>9 三吉神社が村社に列せられる。</p> <p>13 酒井市長が辞職する。</p> <p>22 市会議員補欠選挙(1名)が実施される。</p> <p>29 公会堂で『至上律』主催の文芸講演会が行なわれる。</p> <p>・詩誌『港街』を改題した『至上律』が創刊される。</p>  <p>【『詩と評論 至上律』創刊号】 左:表紙 右:中表紙</p>	<p>22 鈴木茂三郎ら無産大衆党結成</p>




<p>8 1 音別村役場会議室(議事堂)が落成する。</p> <p>10 道議選市部で菊地三之助、郡部で伊藤八郎が当選する。</p> <p>16 佐藤国司が第4代市長に選出される。(初の地元市長となる。)</p> <p>19 白楊樹社主催の「詩歌講演会」が公会堂で催される。</p>	<p>10 第9期道会議員選挙、政友27・民政24</p>
<p>9 3 嵯峨漁港建設・埋立ての為、釧路漁港(株)が設立される。</p>	<p>1 鉱夫労役扶助規則改正(婦人・年少者の坑内・深夜労働禁止)公布</p>
<p>10 5 音別村会議員補欠選挙(1名)が実施される。</p> <p>21 鳥取村立共栄尋常小学校の開校式が行われる。</p> <p>.. 尺別炭山が買収され、雄別炭礦鉄道(株)尺別礦業所となる。</p> <div data-bbox="502 562 1007 936" data-label="Image"> </div> <p>【尺別炭山駅】 左の小屋が駅舎で、右は選炭工場、手前はB6型SLと石炭貨車。</p>	<p>8 蒋介石、国民政府主席就任</p>
<p>11 3 四代目幣舞橋が完成し、渡橋式が行なわれる)</p> <div data-bbox="236 987 1007 1424" data-label="Image"> </div> <p>【四代目幣舞橋】 前3代の幣舞橋は木橋の為短命だったが、四代目は昭和50年まで、「北海道三大名橋」の一つとして親しまれた。</p> <p>11 別保信号所を東釧路駅とし、釧網線の起点とする。</p> <p>.. 頓化の隔離病舎が移転・新築され、市立釧路湖畔病院となる。</p>	<p>1 「ラジオ体操」の放送開始</p>
<p>12 21 太平洋炭礦春採坑で、坑内火災により11名が死亡する。</p> <p>23 南防波堤内埋立地の臨港鉄道への貸付けを市会が議決する。</p>	<p>25 日本労働組合協議会(全協)発足</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路警察署に新武徳館ができる。</p> <p>.. 市内の学校で籠球が盛んになり始める。</p> <p>.. 釧路青年団陸上競技部が結成される。</p> <p>.. 仁々志別駅通所が開設される。</p>	<p>.. 銀行合同進む(普通銀行1,280→1,028)</p> <p>.. 化学肥料普及で硫安消費量、大豆糟消費量と並ぶ(窒素成分量換算)</p> <p>.. 全国で同盟罷業332件・36,872人参加、小作争議1,866件・75,136人参加</p>

昭和4年(1929)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>9 釧路中学に旧警察署の武徳館を移設し、柔剣道場が建てられる。 ・・ 釧路教育夜話会機関誌『潮騒』が創刊される。</p>	12 道庁、牛酪検査規則公布
2	<p>12 鳥取神社が村社に列せられる。 26 上飽別(阿寒第4)発電所が送電を開始する。</p>  <p>【北海道電燈(株)阿寒川系発電所】</p>	
3	<p>・・ 南防波堤内埋立地及び給水岸壁建設工事が竣工する。</p>	<p>5 労農党代議士山本宣治暗殺される 23 道庁、拓殖費教育補助規定公布</p>
4	<p>16 共産党の再弾圧により、釧路では前年と同じ3名の外6名の計9名が検挙されるが、札幌移送後釈放される。 26 二俣小付属霧里特別教授場が、霧里尋常小学校となる</p>  <p>【霧里小学校】昭和42年3月に閉校した。</p>	16 治安維持法により全国で1,000余名逮捕、内339名が共産党員として起訴(4.16事件)
5	<p>1 第6回音別村議会議員選挙(定数18名)が実施される。 10 第4回鳥取(12名)・舌辛(14名)村会議員選挙が実施される。 14 殖民軌道雪裡線(新富士一中雪裡)が営業開始する。 16 初代鳥取橋が完成し、竣工式が行なわれる。</p>	
6		17 駒ヶ岳大爆発、家屋全・半壊1,915戸
7	<p>25 平戸前特別教授場が平戸前尋常小学校(後の北斗小)となる。</p>  <p>【北斗小学校】昭和46年閉校</p>	<p>2 張作霖事件で引責、田中内閣総辞職し、民政党浜口雄幸内閣成立</p>

<p>8 15 猪狩満直の詩集『移住民』が出版される。</p>	<p>5 上歌志内炭砒ガス爆発、死者71人 15 釧網線の標茶一弟子屈間開通</p>
<p>10</p>	<p>24 NY株式市場大暴落、世界恐慌始まる</p>
<p>11 9 湯波内橋と湯波内停車場道路の竣工・渡橋式が行なわれる。 11 消防組第1部番屋(後の市消防本部)が新築落成する。</p>  <p>【鉄筋コンクリート造の新築番屋】 鉄骨造の望楼は地上20m。幣舞橋の袂から市中を見渡した。</p>	<p>21 大蔵省、金解禁に関する省令公布</p>
<p>12 18 臨港鉄道の東釧路―春採間旅客営業が始まる。 ・ 飯田要次郎が浪花町で保育所を始める。(後の釧路保育院)</p>	<p>25 日本労働組合全国協議会(全協)結成</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政逼迫により、一切の新規事業を見合わせた「直立不動予算」が編成され、市債の低利借替等が佐藤市長により実施される。 ・ 鋼船(東海丸・妙見丸・住吉丸)による底曳網漁が始まる。 ・ マグロが300万貫(約1万1千ト)以上の大漁となる。 ・ マグロの豊漁により、釧路川での「氷切り」が盛んとなる。  <p>【釧路川での氷切出し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路港からの雑穀出荷が100万俵を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母船式鮭鱒漁業勃興、工船での缶詰生産が盛んになる ・ 全国で同盟罷業494件・60,084人参加、小作争議2,434件・81,998人参加



昭和5年(1930)




月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>20 『至上律』を改題した詩誌『北緯五十度』が創刊される。 ・・ 春採湖リンク開きのフィギュア試技に700名の観衆が集まる。</p>	<p>11 金輸出解禁実施(金本位制に復帰)</p>
2	<p>11 昭和村創成期成会の設立総会が開かれる。 20 衆議選で東條貞・木下成太郎・小池仁郎・三井徳宝が当選する。</p>	<p>20 総選挙、民政273・政友174・無産諸派5</p>
4	<p>1 尺別駅が一般駅に昇格し、旅客営業を開始する。</p>	
5	<p>1 初代新川橋(鳥取橋と同構造)が竣工する。 ・・ 高田寿夫(元釧中教師)の小説『インテリゲンチャ』が出版される。</p>	<p>・・ 小林多喜二「蟹工船」発表(『戦旗』～6月)</p>
6	<p>11 酪連釧路工場が鳥取村に完成し、バター等の製造販売を始める。 16 尺別炭山郵便取扱所が設置される。(後の尺別炭山郵便局) 22 官民連合運動会が「市民運動会」と改称して第15回が開催される。</p>	
7	<p>・・ 公益質屋が大川町に開設される。</p>	
9	<p>25 越後屋呉服店の両角栄治が丸三鶴屋デパートを開店する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【丸三鶴屋デパート】 左:外観 右:一階店内</p> <p>・・ 釧路金属労働組合が結成される。</p>	<p>15 農林省、機船底曳網漁業取締規制改正 (許可期間を5年以内に短縮等)</p>
10	<p>1 国勢調査で、釧路市51,586人・鳥取村6,990人・舌辛村11,752人・音別村6,140人とされる。 1 新釧路川の全水路が完成し、釧路川から切替通水される。 5 第3回市会議員選挙が実施される。(定数30名) ・・ 阿寒湖畔一弟子屈間の「阿寒横断道路」が開通する。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>【阿寒横断道路】 完成当時の道幅は僅かに3.6m、「477曲り」と呼ばれる難路だった。</p> </div>  </div>	<p>1 第3回国勢調査、北海道人口2,812,335人</p>
11	<p>5 嵯峨久の銅像が建立される。(戦時中供出され、昭和35年に再建)</p>	<p>5 北海道アイヌ協会機関誌『蝦夷の光』創刊</p>
12	<p>5 更料源蔵の詩集『種薯』が北緯五十度社から発刊される。</p>	
(この年)		(この年)
	<p>・・ 種馬所が鳥取村等釧路国管内9ヶ所に増設される。 ・・ 不況により、産馬の価格が大正時代の5分の1に下落する。 ・・ 釧路港から米・英への雑穀直輸出が始まる。</p>	<p>・・ 世界恐慌、日本に波及(昭和恐慌) ・・ 全国で同盟罷業763件・64,933人参加、小作争議2,478件・58,565人参加</p>

昭和6年(1931)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	28 釧路の観測史上第2位の最低気温-28.2度を記録する。 .. 尺別小附属尺別炭砒特別教授場が、尺別炭砒尋常小学校となる。	26 日本農民総同盟と全日本農民組合合同、 日本農民組合(日農)結成
2	.. 野坂朔朗(作五郎)らの句会「無名会」が発足する。	
3	12 臨港鉄道が南埠頭借入岸壁(知人埋立地)で接岸荷役を始める。 25 第1回児童画展が鶴屋デパート4階で開催される。(～31日)	.. 軍部クーデタ未遂事件(3月事件)
4	18 脚本研究会の会「木曜座」が創立される。 29 釧路考古学研究会が発足する。	1 国立公園法公布 1 重要産業統制法(カルテル強制)公布
6	1 栗林商船と三上運送の出資により三ツ輪運輸(株)が設立される。 12 阿寒国立公園期成会が発足する。 27 田村剛博士が阿寒国立公園候補地域を視察する。 【『国立公園候補地 阿寒』(昭和6年7月 釧路市役所内阿寒国立公園期成会)】	6 北海道旧土人奨学資金給与規程制定
		
7	16 釧路一東京間に市外電話回線が開通する。 17 本多静六博士ら国立公園調査会一行が阿寒を視察する。 31 根室・釧路地域業者による北海道昆布輸出組合が設立される。	5 労農・全国大衆・社会民衆の3党合同、 全国労農大衆党結成
8	8 釧路軟式野球協会が結成される。	24 リンドバーグ夫妻、太平洋横断根室港着水
9	1 官立春採小学校(旧春採土人学校)の閉校式が行なわれる。 19 釧路川治水工事が竣工し、岩保木水門で通水式が行なわれる。  【岩保木(旧)水門】 ここからの新水路が新釧路川だが、昭和39年～平成13年は釧路川(従来の川は旧釧路川)とされた。 20 釧網線(東釧路一網走)の全通式が第二小学校で挙行される。	18 柳条湖事件、満州事変始まる
10		.. 道庁、北千島海域鮭鱒流網漁を許可
11	.. 『北緯五十度詩集』が刊行される。 .. 失業救済事業で市道側溝コンクリート工事が始まる。(～翌年1月)	27 日本プロレタリア文化聯盟(コップ)結成
12		13 金輸出再禁止を閣議決定(金本位制停止)
(この年)		(この年)
	.. 尺別炭山で鉱長宅爆破事件が起こる。 .. 音別・二俣・尺別の青年訓練所が、各実業補修学校と改称される。	.. 東北・北海道大凶作、農家子女身売り続出 .. 全国で同盟罷業864件・54,515人参加、小作争議3,419件・81,135人参加



昭和7年(1932)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		8 朝鮮人李奉昌、天皇の馬車に爆弾投げる (桜田門事件)
2	4 音別村会議員補欠(3名)選挙が行われる。 10 音別神社が村社に昇格する。  【音別神社】 毎年7月12日を中心に例祭が行なわれている。 10 釧路市教育会編の副読本『釧路市郷土誌』が発刊される。	9 前蔵相井上準之助、血盟団員が射殺 20 総選挙、政友301・民政146・無産諸派5
3	15 真壁仁詩集『街の百姓』が出版される。	1 満州国建国宣言(首都長春[新京])
4	1 尺別炭山郵便取扱所が郵便局に昇格する。 15 釧路新聞『木曜文芸』に連載中の五十嵐重司(釧中生)の小説「灰色の聖林」が学校当局の申入れで掲載を中止される。 .. 雪裡線と幌呂線の運行組合が合併し、北海道拓殖軌道雪幌線運行組合が設立される。	
5	31 釧路合同労組と同金属労組が釧路一般労働組合が結成される。	15 青年将校ら首相官邸襲撃、犬養首相射殺 (5・15事件)
6	.. 忠魂碑が大成寺から鶴ヶ岱公園内に移設される。  【当時の忠魂碑】 昭和26年に鳥取神社の忠魂碑が合祀され、同40年に厳島神社境内の釧路護国神社に移設されている。	29 警視庁に特別高等警察部設置
7	.. 市営グラウンド(69,735㎡)が第五小学校裏に完成する。	24 全国労農大衆党、社会大衆党と改称
8	1 市制施行10周年記念式典が挙行される。 10 道議選市部岡田伊之助、郡部伊藤八郎・伊藤鉄次郎が当選する。 15 市内の字(町名)地番の改正が告示され、真砂町・西幣舞等が南大通・北大通等に変更される。 16 茅野満明が第五代市長に選出される。	4 北海中卒の南部忠平、ロサンゼルス五輪三段跳びに世界新で金メダル 10 第10期道会議員選挙、政友30・民政28 15 河西支庁を十勝支庁、浦河支庁を日高支庁に各改正


<p>9 18 釧路畜産組合が新馬種「日本釧路種」を発表する。</p>  <p>【「日本釧路種」の種牡馬】 「小格重鞍馬」の日本釧路種は軍用・農耕など多方面で活躍した。</p> <p>9 釧路畜産組合が第1回釧路地方競馬を鳥取村10番地で開催する。 (昭和12年まで年2回、同16年まで年1回開催された)</p>  <p>【釧路地方競馬】 競馬場に因んで、後に「駒場町」となった。</p>	<p>7 文部省、欠食児童20万人への臨時学校給食実施を訓令</p>
<p>10 9 市営グランド開場記念市民大運動会が開催される。</p>	<p>5 農山漁村経済更生計画助成規則公布</p>
<p>11</p>	<p>5 広尾線(帯広―広尾)全通</p>
<p>12 4 北海道漁業缶詰(株)釧路工場が入舟町に完成し、カニ缶詰生産の操業を開始する。</p> <p>7 国の失対事業で春採湖西岸埋立護岸工事が始まる。(～翌年3月)</p>  <p>【釧路市失業救済事業春採湖埋立工事現場風景】</p>	<p>23 文部省、小学校における北海道郷土地理教授要項を訓令</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路川浚渫及び両岸埋立護岸工事が始まる。 ・ 釧路地方の底曳網漁船操業停止期間が6・7月の2ヶ月と定められ、この期間、根室への入会操業が行なわれる。 ・ 水難救済会が釧路港配置の救難船(白鳥丸)を建造する。 ・ 舌辛村の水稻作付けが435反と最大になるが、冷害の為に収穫皆無の大凶作に終わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷水害で全道的な大凶作 ・ 道庁長官凶作の根釧原野視察、酪農主体の根釧原野農業開発5ヶ年計画策定 ・ 全国で同盟罷業778件・46,025人参加、小作争議3,414件・61,499人参加

昭和8年(1933)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		1 山海関事件、中国軍と関東軍衝突
2	1 雄別炭鉱大祥内坑でガス爆発事故が発生し、5人が死亡する。	20 小林多喜二、築地署で虐殺
3	15 鳥取小学校に鳥取家政女学校が併置される。  【家政女学校の授業風景】 予科(尋常小卒)・本科(予科又は高等小卒)・専修科があった。	3 昭和三陸地震(M8.1)、死亡・不明 3,064 人 27 政府、国際連盟脱退を通告 29 漁業法改正公布(組合自営を認める)
4	1 尺別炭鉱小に高等科が置かれ、尺別炭鉱尋常高等小学校となる。 1 旭小学校に市立商業専修学校が併置される。 ・ 釧路専門店会(後の日専連釧路会)が創立される。	・ 道庁、根釧原野農業開発5ヶ年計画実施
5	1 鳥取村に1級町村制が施行され、村長に佐藤一馬が就任する。 28 都市計画基本調査(地形測量)が実施される。(～11/28) ・ 富士製紙釧路工場が王子製紙釧路工場と改称する。 ・ 第7回音別村会議員選挙(定数18名)が実施される。 ・ 第5回阿寒村会議員選挙(定数24名)が実施される。	18 王子製紙(株)、富士製紙(株)・樺太工業(株)を合併 31 関東軍と中国軍の塘沽停戦協定成立
6	16 仁々志別川の不二橋が完成し、渡橋式が行なわれる。 18 第18回市民大運動会が会場を市営グラウンドに移して開催される。 ・ 農山漁村振興事業として、久寿里橋架橋工と城山一春採炭山一益浦一桂恋間道路の改良工事が始まる。	
7	24 太平洋炭鉱春採坑でガス爆発が起き、6人が死亡する。 30 第5回鳥取村会議員選挙(定数18名)が実施される。	11 大日本生産党員らクーデター計画、49人検挙(神兵隊事件)
8	23 高浜虚子が来釧する。 27 龍清教会(後の龍清寺)が大町に創建される。 ・ 野田頭鉄彌が『釧路大東新聞』を創刊する。  【釧路大東新聞】 市立釧路図書館に昭和14～15年の一部が保存されている。	

<p>9 17 釧路陸上競技協会が設立され、道陸協に加盟する。</p>	<p>17 北海道陸上競技協会創立</p>
<p>10 .. 釧路川と新釧路川を結ぶ運河掘削工事が始まる。</p>  <p>【釧路運河掘削工事の風景】 主に木材の流送の為着工したが、釧網線の開通等により未完のまま終了した。</p>	<p>21 5相会議で満州国の育成・日満支3国提携などの国策大綱決定</p>
<p>11 .. 釧路考古学研究会が『釧路市の先住民族遺跡』を刊行する。</p>	<p>12 道庁、卸売・小売市場規則各公布 26 石炭販売統制機関の昭和石炭(株)設立</p>
<p>12 20 初代久寿里橋の渡橋式が行なわれる。</p>  <p>【初代久寿里橋】 橋が架かるまでは渡し船で往来していた。昭和17年5月、腐朽で中央部墜落時も復旧まで再度、渡し船が使われた。</p> <p>25 北聯の釧路聯合倉庫・澱粉再製工場・豆選工場が操業を始める。</p>	<p>1 標津線の厚床—西別(別海)間開通</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> .. 市の財政が内務・大蔵両省の事前監督を受ける。(昭和15年まで) .. 釧路から初めて、金城丸が東カムチャッカで鮭鱒流網漁を行なう。 .. 日貨排斥運動で休航した釧路—上海線に代わり、釧路—大連線の航路に4社が就航する。 .. 岩淵三治が、阿寒湖に鯉を放流する。 .. 舌辛村の水稻収穫が、前年皆無から最高の653石となる。(翌年以降は冷害凶作が続く) 	<ul style="list-style-type: none"> .. 輸出産業全般的好調、米の大豊作などにより、景況暫時好転 .. 全国で同盟罷業525件・35,880人参加、小作争議4,000件・48,073人参加 .. 道庁、漁業取締船新造、2隻で底引船取締を実施


昭和9年(1934)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		29 官民大合同の日本製鐵(株)設立
2	1 猪狩満直の詩集『秋の通信』が北緯五十度社から刊行される。 .. 南埠頭を臨港鉄道が市から買収(34,579㎡・72万円)する。	
3	15 バス営業の釧路自動車(株)が釧路乗合自動車(株)と改称される。 26 釧路木炭移出商業組合が設立される。	16 瀬戸内海・雲仙・霧島、国立公園に指定 21 函館大火、焼失24,186戸死者・不明2,716人
4	1 第一・二・三・四・五の各尋常高等小学校が、日進・寿・東栄・旭・城山に各改称される。	
6	9 鳥取村で開村50年記念祭が挙行される。(～11日) .. 鳥取村役場編『鳥取50年誌』が刊行される。	
7	20 『音別村々報』創刊号が発刊される。 .. 釧路畳販売・釧路雑穀澱粉卸売・釧路米穀卸の各商業組合が設立される。 .. ミツロコ(株)共同魚菜市場が(株)共同魚菜卸売市場へ、(株)水印釧路魚菜市場が(株)釧路魚菜卸売市場と改称する。	25 農林省、母船式漁業取締規則公布(全て許可制となる)
8	4 釧路港貿易額200万円突破を記念し「第1回港まつり」が催される。	
9	10 豪雨による大洪水で、舌辛村2名・音別村7名が死亡する。	21 室戸台風、関西中心に死者・不明3,036人
10	5 第4回市議員選挙が実施される。(定数36名)	1 標津線の西別(別海)一中標津間開通
11	20 商工会議所が改築され、一部を釧路商工奨励館として開館する。 .. 大楽毛橋が永久橋に架替えられる。	18 日本労働組合全国評議会(全評)結成
12	4 阿寒が国立公園に指定される。 【12月16日、公会堂前から出発した数千人の「阿寒国立公園指定」祝賀パレード】  23 音別一白糠間道路改良工事とパシクル橋復旧工事が完成する。 25 音別橋架替工事が竣工し、渡橋式が行なわれる。 .. 釧路農事試作場が太田村から鳥取村穂弥平に移転・開設される。 .. 知人岬(米町公園)に石川啄木歌碑が建立される。	4 阿寒・大雪・日光・中部山岳・阿蘇、国立公園に指定 .. 日本捕鯨(株)の船団、南氷洋へ初出漁
(この年)		(この年)
	.. 音別村本流地区に朝日炭砒(後の音別炭砒)が開坑される。 .. マイワシの水揚量が最高の550万貫(約2万ト)を記録する。 .. マグロ流網漁の水揚量が急激に減少する。 .. 釧路港の輸出総額が328万円余となる。(大連線が主力)	.. 全道の冷害凶作、米収穫前年322万石が 187万石 .. 全国で同盟罷業562件・42,149人参加、小作争議5,828件・121,031人参加



昭和10年(1935)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	<p>10 釧路スキー協会が発足し、第1回スキー大会が硫黄山で開かれる。</p> <p>22 釧路瓦斯(株)が設立される。</p>  <p>【釧路瓦斯(株)本店】 翌年11月18日に石炭が原料の都市ガス供給を開始する。</p> <p>・・ 雄別炭砒診療所が開設される。</p>	25 母船式鮭鱒漁の全企業、太平洋漁業(株)に合併吸収
3	7 札幌通信局海事部釧路出張所が浪花町4に開設される。	
4	<p>・・ 各青年訓練所・実業補習学校等が、各青年学校に改称される。</p> <p>・・ 新田煉乳釧路工場が貝塚で操業を始める。</p>	1 青年学校令公布
5		6 茂尻炭砒でガス爆発、死者95人
6	<p>16 市民大運動会が第20回を記念して大々的に開催される。</p>  <p>【第20回釧路市民大運動会】</p>	
7	・・ (株)共同魚菜卸売市場が(株)釧路魚菜卸売市場を買収・合併する。	
8	<p>4 釧路開港35周年を記念して第2回港まつりが開催される。</p> <p>6 阿寒湖畔郵便取扱所(翌月26日に阿寒湖郵便局)が設置される。</p> <p>27 『タンチョウ』及びその繁殖地が国の天然記念物に指定される。</p>	7 北海道綴方教育連盟結成
9	<p>10 図書館が公会堂内から市役所横水道事務所跡に移転する。</p> <p>24 音別に加入電話が施設され、音別郵便局で交換業務が始まる。</p>	18 美濃部達吉、「天皇機関説」で議員辞職
10	1 国勢調査で、釧路市56,170人・鳥取村9,034人・舌辛村13,236人・音別村5,275人とされる。	1 第4回国勢調査、北海道人口3,068,282人
12	24 モシリヤのチャシ・春採台地堅穴群・チャランケチャシが国の史蹟に指定される。	8 大本教出口王仁三郎ら、不敬罪と治安維持法違反で逮捕(第2次大本教事件)
(この年)		(この年)
	<p>・・ 釧路港から青エンドウ等の豆類が欧米へ直輸出され始める。</p> <p>・・ 中徹別一仁々志別間道路(約5km)が開通する。</p>	<p>・・ 前年続き全道的冷害凶作、米収穫178万石</p> <p>・・ 全国で同盟罷業531件・31,853人参加、小作争議6,824件・113,164人参加</p>



昭和11年(1936)




月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>15 佐々木米太郎著『釧路郷土史考』を市が発刊する。</p>  <p>【佐々木米太郎】 釧路米穀雜貨商組合長であり、町会・区会・市会議員を20年余務める等、政財界に重きをなした人物で、郷土史研究にも力を注いだ。</p>	<p>15 全労・総同盟が合同、全日本労働総同盟(全総)創立</p>
2		<p>20 総選挙、民政205・政友174・社会大衆22</p> <p>26 皇道派青年将校ら1,400人、内府齊藤実・蔵相高橋是清ら殺害(2・26事件)</p>
3	<p>30 湯波内の自作農創設地で泥炭地開墾が始まる。</p>	
4	<p>1 釧路男子高等小学校(後の弥生中)が開校する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立釧路病院附属看護婦養成所が開設される。 釧路管弦楽団が結成され、定期演奏会等をはじめ。 釧路郷土文化協会(会長は茅野市長)が創立される。 	
7	<p>14 釧路市立郷土博物館が市役所内図書館2階に開館する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治製菓(株)が貝塚の新田練乳釧路工場を買収し、極東煉乳(株)釧路工場となる。 小助川浜雄の歌集『海彦』が新墾社から発刊される。 	<p>17 スペイン内戦始まる</p> <p>31 第12回五輪開催地、東京に決定</p>
8	<p>16 佐藤国司が再び市長(第6代)に選出される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ベルリン五輪で市第三高小卒の中村コウが円盤投げ4位入賞する。 開港35周年記念事業で佐野碑園が前年より整備され、佐野氏紀功碑が建立される。 俳人の臼田亜浪が来釧する。 前年1社となった卸売市場が魚と青果の2社に分離される。 	<p>6 砂川炭砒の田島直人、ベルリン五輪三段跳に世界新で金メダル</p> <p>10 第11期道会議員選挙、民政29・政友26</p>
9	<p>27 天皇陛下が行幸され、男子高等小学校が行在所となる。</p>	
10	<p>19 雄別炭礦鉄道(株)が浦幌炭砒を買収し、尺別鉱業所浦幌坑とする。</p> <p>29 釧網線が釧網本線と改称される。</p>	<p>3 陸軍特別大演習、北海道で実施(～5日)</p> <p>8 全日本専門店會聯盟(日專聯)結成</p>
11	<p>23 釧路ロータリークラブが創立される。</p>	<p>25 日独防共協定、ベルリンで調印</p>
12	<p>9 日蓮宗音別教会所(後の妙音山法華寺)が創立される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 太平洋炭砒が春採第2斜坑採掘を再開する。 	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 根釧原野の多数の農家に、道費補助で乳牛が導入される。 帯広松光寺釧路布教所(後の松光寺)が川上町に開設される。 シュンク舌辛川支流サルンナイ沢で炭砒が開坑する。 音別消防組に初めて消防ポンプ車が導入される。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国で同盟罷業498件・26,772人参加、小作争議5,769件・58,675人参加

昭和12年(1937)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>10 釧路臨港鉄道の東釧路一城山間が開業される。</p>  <p>【開業当時の城山駅とガンリンカー】</p> <p>16 鳥取村に釧路種馬所が設置される。</p>	
2	<p>11 八千代座において失業者大会及び演説会が開かれる。</p>	<p>11 文化勲章令公布</p>
4	<p>1 舌辛村が分割され、鶴居村が開村する。</p>	<p>30 総選挙、民政179・政友175・社会大衆37</p>
5	<p>5 第8回音別村会議員選挙が行われる。(定数18名)</p> <p>13 商工会議所が『釧路観光案内』を発刊する。</p>  <p>【復刻版『釧路観光案内』】 商店・工場・官公庁の写真等も豊富で、当時の釧路を知る貴重な史料。2004年に復刻された。</p> <p>.. 第6回阿寒村会議員選挙が行われる。(定数18名)</p>	<p>17 北海道漁業組合联合会(道漁聯)設立</p>
6	<p>5 舌辛村が阿寒村と改称される。</p> <p>9 保証責任鳥取信用購買利用組合が設置される。</p> <p>.. 穂弥平一仁々志別間の殖民軌道(約12km)が開通する。</p>	<p>9 第5回冬季五輪開催地、札幌に決定</p> <p>18 ヘレンケラー来道、各地で講演</p>
7	<p>30 第6回鳥取村会議員選挙が行われる。(定数18名)</p>	<p>7 廬溝橋事件(日中戦争へ拡大)</p>
8		<p>9 農林省、機船底曳網漁業整理規則公布</p>
9	<p>10 太平洋炭砒の春採選炭場が火災により大半の設備が焼失する。</p>	
10	<p>.. 音別市街の火災により寺院・料理店等7棟8戸が消失する。</p>	<p>13 北大に北方文化研究室設置</p> <p>30 標津線(標茶―根室標津―厚床)全通</p>
11	<p>3 鳥取村の酪聯釧路工場が貝塚の極東練乳工場隣地に移転する。</p>	<p>.. 道庁編『新撰北海道史』、全7巻刊行終了</p>
12	<p>15 人民戦線事件により釧路では10数名が検挙され、土屋祝郎・永田金次郎・桑原一の3名が起訴される。</p> <p>21 春採湖ヒブナ生息地が国の天然記念物に指定される。</p>	<p>13 日本軍、南京を占領(南京大虐殺)</p> <p>15 労農派の山川均ら400人余検挙(第1次人民戦線事件)</p> <p>22 全評・日本無産党に解散命令</p>
(この年)		(この年)
	<p>.. 日中戦争で石炭需要が急増し、釧路炭田各坑も増産体制となる。</p> <p>.. 遍照教会(後の遍照寺)が北大通12の9に創建される。</p> <p>.. 阿寒湖のヒメマスがパンケトーに移植される。</p>	<p>.. 全国で同盟罷業530件・53,429人参加、小作争議3,879件・63,246人参加</p>

昭和13年(1938)

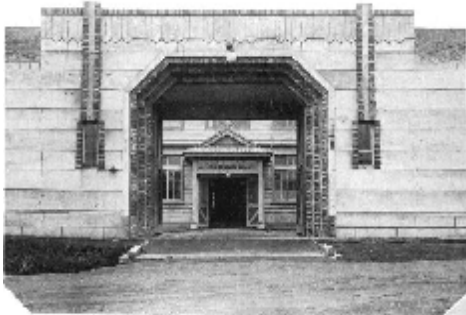

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	10 北海道機船底曳網漁業整理水産組合が設立され、釧路支部所属 45隻を20隻に減船する整理案を5月に農水省へ提出する。	
2	26 NHK釧路放送局が開局し、仮放送(50ワツ)を開始する。	1 大内兵衛・美濃部達吉ら教授グループ検 挙(第2次人民戦線事件)
3	10 全釧路俳句大会が開催される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路畜産組合が新馬種「奏上釧路種」を発表する。  <p style="text-align: center;">【奏上釧路種】 軽種馬を改良して誕生した小格重鞍馬。 扱いやすい多目的馬として活躍した。</p>	1 商工省、綿糸布配給統制規則公布(綿糸 布の割当票制度、最初の配給切符制) 18 漁業法改正(組合機能が拡大)公布 29 重要鉱物増産法公布
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北埠頭の建設・鉄道事業の為、釧路埠頭倉庫(株)が創立される。 ・ 雄別通洞が開通し、全ての坑口が一本化される。  <p>【雄別通洞を出入りする炭車】 右は石炭を満載して炭山駅に向かう炭車、左は空の炭車。</p>	1 国家総動員法公布 6 電力管理法・日本発送電(株)法、各公布
5	7 釧路市壮年団が発足する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 俳誌『摩周』が創刊される。 	1 ガソリンの配給切符制実施
6	20 詩誌『大熊座』が創刊される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 嵯峨漁港の日本水産(株)釧路工場で釧路初の製氷が始まる。 	
7	22 NHK釧路放送局が本放送(100ワツ)を開始する。	1 市町村立職業紹介所廃止、国営化
8	1 全国中等学校武道大会北海道予選会で釧中剣道部が優勝し、神宮大会に初出場する。	

<p>9 7 吉田仁吉編『釧路行幸誌』を市が発刊する。</p> <p>8 嗟峨漁港に(株)釧路魚卸売市場本場が新築・竣工し、入船町魚市場は廃止される。</p>  <p>【頌徳碑 嗟峨久壽像】 「釧路漁業界の父」と呼ばれ、 漁業基地:釧路の礎を築いた。</p> <p>.. 釧路機関区に初めてC58型蒸気機関車が配置される。</p>	<p>19 商工省、石炭配給統制規則公布(10.1配給切符制実施)</p>
<p>10 5 第5回市議員選挙が実施される。(定数36名)</p> <p>.. 北海道バレーボール大会(札幌市)一般男子の部で、釧路鉄道工場が優勝する。(以降3年連続で明治神宮体育大会道代表となる)</p>	<p>6 夕張炭砒でガス爆発、161名死亡</p>
<p>11 .. 愛国飛行場の開場式が行なわれ、万余の観衆が集まる。</p>  <p>【愛国飛行場】 飛行場は無くなったが、「愛国」という地名だけは残った。</p>	<p>13 日本労働組合総聯合、日本勤労奉公聯盟と改称</p> <p>20 『岩波新書』刊行開始</p> <p>20 北海道国民精神文化研究会発足</p>
<p>12 8 尺別炭山郵便局で電話交換業務が始まる。</p> <p>17 尺別小学校が全焼する。</p>	
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 太平洋炭砒でロング採炭(長壁式採炭)が始まる。</p>  <p>【当時のロング採炭現場】</p> <p>.. 釧路港作業組合産業報国会が結成される。</p>	<p>.. 全国で同盟罷業224件・12,769人参加、小作争議4,615件・52,817人参加</p>

昭和14年(1939)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>16 直別市街に直別郵便取扱所(後の直別郵便局)が開設される。 ・・ 二俣郵便局が電信業務を開始する。</p>	<p>15 横綱双葉山、連勝記録69で止まる 25 警防団令公布(4.1施行)</p>
2	<p>13 高野大師講大師教会支部(後の岸福寺)が設立される。 20 北海木材化学工場で労働争議が起こる。 27 消防組を改組し、阿寒・雄別・北陽各警防団が結成される。 ・・ 釧路再生原料問屋商業組合が設立される。</p>	<p>9 政府、国民精神総動員強化方策を決定</p>
3	<p>9 釧路の観測史上第1位の最深積雪123cmを記録する。 31 消防組を改組し、音別警防団が結成される。 ・・ 釧路菓子小売商業組合が設立される。 ・・ 釧路國水産會の漁業用海岸無線局が嗟峨漁港で営業開始する。</p>	<p>15 各地の招魂社、護国神社と改称 25 酪農業調整法公布 28 国民精神総動員委員会官制公布</p>
4	<p>1 消防組を改組し、釧路市警防団が結成される。 1 釧路女子高等小学校(後の東中)が開校する。 22 庁立釧路工業学校(採鉱・機械・応用化学科)が開校する。 ・・ 仁々志別小附属共和特別分教場(後の共和小)が開設される。</p>	<p>1 全国の発送電設備33社を統合し、日本発送電(株)設立 12 米穀配給統制法公布 26 青年学校義務制(12~18才男子)の勅令</p>
5	<p>・・ 一条正(釧路では一条迷羊)の短編集『蛭の仲間』が出版される。</p>	<p>11 満蒙国境で武力衝突(ノモンハン事件)</p>
7	<p>15 国民徴用令が施行され、軍需工場等への徴用が始まる。 ・・ 三ツ輪運輸の雄別炭荷役部門が釧路石炭荷役(株)となる。 ・・ 太平洋炭礦の港頭石炭ローダーとコンクリ製高架棧橋が完成する。</p> <div data-bbox="419 1137 1007 1518" data-label="Image"> </div> <p>【巨大な石炭ローダーでの汽船積み込み風景】</p>	<p>8 国民徴用令公布 26 内務・厚生両省「朝鮮人労務者内地移住に関する件」通牒(85,000人の強制連行認可)</p>
8	<p>1 土木・築港・治水事務所を統合して釧路土木現業所が設置される。 6 第1次釧路開拓団が満拓公社の現地立会の下、入植決定する。</p>	
9		<p>1 独軍、ポーランド侵攻(第2次世界大戦)</p>
10	<p>・・ 焼失した尺別小学校の復旧工事が竣工する。 ・・ 釧路ゴム靴類小売商業組合が設立される。</p>	<p>18 価格等統制令・地代家賃統制令・賃金臨時措置令等、各公布</p>
12	<p>16 仁々志別郵便取扱所(後の仁々志別郵便局)が設置される。</p>	<p>26 朝鮮総督府、「創氏改名」強制開始</p>
(この年)		(この年)
	<p>・・ マダラ・スケトウダラの水揚げが1,200万貫(約4万5千ト)となる。 ・・ 出征兵士への「千人針」が街頭で目立ち始める。</p>	<p>・・ 10~12月に道内26鉱山で朝鮮人3,002人が紛争・争議に参加 ・・ 全国で同盟罷業290件・20,640人参加、小作争議3,578件・9,065人参加</p>


昭和15年(1940)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		20 北海道産業報国聯合會結成
2	<ul style="list-style-type: none"> 新教各派が合同し、釧路基督教連盟が発足する。 釧路酒類食料品雑貨卸売商業組合が設立される。 	1 陸運統制令・海運統制令、各公布
3	11 第1次釧路開拓団が満州国東安省に入植する。 17 雄別炭砦で朝鮮人457人がストライキ、21日に70人が検挙される。 <ul style="list-style-type: none"> 内務・大蔵両省の市財政事前監督が7年ぶりに解除される。 釧路海産物移出商組合が設立される。 	23 道庁、宗教団体会法施行細則公布
4	1 阿寒村に1級町村制が施行される。 1 音別林産物検査員駐在所が開設される。 7 釧路大東新聞社が全焼する。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路金物小売商業組合、同木材商業組合、同洋服雑貨・既製洋服小売商業組合、同酒類食料品雑貨小売商業組合が設立される。 	8 石炭配給統制法公布
5	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒村北陽炭鉱が開坑される。 	1 国民優生法公布
6	30 第7回阿寒村会議員選挙が行われる。(定数18名)	
8	15 臼井拾が第7代市長に選出される。 24 臨港鉄道の臨港一入舟間が開業し、城山一入舟間が全通する。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路燃料小売商業組合が設立される。 	10 第12期道会議員選挙(以後6年8月在職) 15 全政党の解党終了
9		27 ベルリンで日独伊3国同盟調印
10	1 国勢調査で、釧路市63,180人・鳥取村10,651人・阿寒村13,140人・音別村6,859人とされる。 10 釧路一函館間急行第3・4列車に「まりも」の愛称が付けられる。 <ul style="list-style-type: none"> 釧路米穀小売商業組合が設立される。 女子高等小と市立実科高女の校舎が城山に新築される。 	1 第5回国勢調査、北海道人口3,272,718人 12 大政翼賛会発足(総裁近衛首相)
11	21 「北海道綴方教育連盟事件」が起こる。(東栄小訓導の坂本亀松ら3名の教員が検挙される。翌年1月10日第2次検挙)  <p style="text-align: center;">【釧路刑務所】 起訴された12名は釧路地裁の判決が出る昭和18年6月迄(1名途中死亡)釧路刑務所に拘置された。</p>	1 砂糖、マッチの配給切符制実施 10 紀元2600年記念式典挙行  <p style="text-align: right;">【紀元2600年奉祝を伝える釧路新聞】</p> 23 大日本産業報国会発足
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 釧路の明星・金城・東海丸が北千島で底曳試験操業を行なう。 太平洋炭礦の年間出炭量が初めて100万トンを突破する。 太平洋炭礦別保坑に朝鮮人約800名が強制就労される。(18年迄に約2,700名が釧路炭田の各坑に強制就労される) 	<ul style="list-style-type: none"> 内務省、部落会・町内会・隣保班整備要綱を道府県に通達(隣組制度) 全国で同盟罷業239件・24,152人参加、小作争議3,165件・38,614人参加



昭和16年(1941)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>10 綴方連盟事件の第2次検挙により、道内53名の教員が検挙される。 (この内9名、前年検挙の3名と合わせ12名が起訴される)</p>	<p>10 大政翼賛会北海道支部発足</p> <p>18 北海道産業報国会結成</p>
2	<p>18 大政翼賛会釧路市支部が発足する。(支部長に臼井市長)</p> <p>・ ・ 釧路小間物化粧品紙文具小売商業組合、釧路医薬品衛生材料小売商業組合が設立される。</p>	<p>1 各三等郵便局を特定郵便局と改称</p>
3		<p>11 労働者年金保険法(S19厚生年金)公布</p> <p>18 三菱美唄炭鉱でガス爆発、177名死亡</p>
4	<p>1 各小学校が国民学校と改称される。</p> <p>・ ・ 明治乳業(旧極東煉乳)と酪連が統合し、貝塚の両工場が北海道興農公社釧路工場となる。</p>	<p>1 6大都市で米穀配給通帳制・外食券制実施</p> <p>1 生活必需物資統制令公布</p>
5	<p>16 庁立釧路工業学校の校舎落成が行なわれる。</p> <div data-bbox="256 792 890 1151" data-label="Image"> </div> <p>【庁立釧路工業学校】 昭和23年に北海道釧路工業高等学校と改称される。</p>	<p>30 北海道文芸協会が季刊『北方文芸』創刊</p>
6	<p>15 市民大運動会の入場式が全道にラジオ実況放送される。</p>	
7	<p>・ ・ 商業報国会釧路市支部が結成される。</p>	<p>1 全国の隣組、一斉に常会実施(以後毎月)</p>
8		<p>8 文部省、学校報国会(団)編制を訓令</p>
9	<p>6 釧路の観測史上第1位となる日降水量182.4mmを記録する。</p> <p>・ ・ 台風により釧路方面の死者が24名にのぼる。</p> <p>・ ・ 釧路陶磁硝子器小売商業組合、同洗染商業組合が設立される。</p>	<p>2 衆議院議員クラブ解消、翼賛議員同盟成立</p>
10		<p>18 東条英機内閣成立</p>
11	<p>4 大政翼賛会釧路市支部に文化委員会が設けられ、科学・芸術・教化・厚生各分科会が設けられる。</p>	<p>22 国民勤労報国協力令公布</p>
12	<p>18 金比羅院が南大通に移転する。</p>	<p>8 太平洋戦争勃発</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ ・ 米も配給通帳制になり、殆どの食料・生活物資が配給制となる。</p> <p>・ ・ 各学校に全校組織の学校報国会(団)が編制され、授業が半減して勤労奉仕・軍事教練が主となり始める。</p> <p>・ ・ 専門学校・実業学校の翌春卒業生が3ヶ月繰上げ卒業する。(次の年より6ヶ月繰上げ)</p>	<p>・ ・ 宗教団体法により、教派神道13教派・仏教28宗派・キリスト教2教団に統合</p> <p>・ ・ 全国で同盟罷業525件・35,880人参加、小作争議4,000件・48,073人参加</p> <p>・ ・ 全国で朝鮮人労働者の紛議628件・33,526人参加、逃亡43,031人</p>

昭和17年(1942)




月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		1 食塩の配給通帳制実施
2		1 衣料の配給、点数切符制実施 21 食糧管理法公布
3	11 道内の全小規模運送業者が日本通運(株)札幌支部に統合され、日本通運(株)釧路支店が開設される。	5 東京に初の空襲警報発令 7 農水省、鮮魚介配給統制要綱制定
4	3 阿寒村森林組合が設立される。 30 衆議選道5区で「推薦候補」4名が当選する。 .. 音別村森林組合が設立される。 .. 女子国民学校(後の東中)に女子青年学校が開設される。	1 船舶運営会設立(海運全てを国家管理) 1 道内電力4社統合、北海道配電(株)設立 30 第21回総選挙(翼賛選挙)実施 .. 木材統制令により北海道地方木材(株)設立
5	21 第7回鳥取村会議員選挙が行われる。(定数24名) .. 第9回音別村会議員選挙が行われる。(定数18名) .. 尺別炭鉱一浦幌炭鉱間の「尺浦隧道」が完成する。	13 企業整備令公布 20 水産統制令公布
6	26 釧路聖教会(新教系)の長塚牧師が特高に検挙される。 30 阿寒村会議員補欠選挙(4名)が行われる。	
8	7 釧路鮮魚介配給統制(株)が設立される。	14 閣議、町内会等を翼賛会指導組織とする
9	11 釧路鉄道管理部が設置され、鉄道工場を工機部と改称する。 30 釧路産牛馬畜産組合が産馬畜産組合と産牛同に分離される。 .. 更科源蔵の『コタン生物紀』が札幌で出版される。	
10	5 第6回市会議員選挙が行われる。(当選36名中32名が推薦候補)	
11	1 新聞統合で釧路新聞社は北海道新聞釧路支社となる。  【新聞統合前の釧路新聞社屋】 この統合で、明治35年から続いた第2次釧路新聞が廃刊となる。 3 尺別一尺別炭山間の軌道に代わる専用鉄道が運行開始する。	1 北海道タイムスなど11新聞統合され「北海道新聞」創刊 .. 道会議員会、翼賛道政会に改組
12	5 釧路国民職業指導所が北大通から大川町に移転・新築される。	12 北海道翼賛芸術聯盟結成
(この年)		(この年)
	.. 野球の試合が「ヨシ」「ダメ」等のサインで行われるようになる。	.. 全国で労働争議173件・9,625人参加 .. 産業報国会、163,740事業所・5,514,320人

昭和18年(1943)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>4 市立病院が全焼し、入院患者・家族など9人が焼死する。</p> <p>8 釧路ハリストス正教会信徒の白系露人2名が特高に検挙される。</p> <p>10 文芸雑誌『霧笛』が創刊される。(翌年1月の第13号で休刊)</p>	<p>21 文部省、中学・高女は4年、大学予科は2年等に各修業年限短縮を決定</p>
2	<p>21 釧路翼賛芸術連盟が発足する。</p> <p>.. 釧路映画演劇協会が発足する。</p>	<p>1 日本軍、ガダルカナル島撤退開始</p>
3		<p>11 農業団体法・水産業団体法、各公布</p> <p>12 商工組合法・商工経済会法、各公布</p> <p>20 改正府県制・市制・町村制、各公布</p>
4	<p>.. 戦力増強重点生産方針により釧路炭田の中小炭砦が閉鎖され、8炭山だけに整理統合される。</p>  <p>【戦時中の太平洋炭砦(春採坑従業員倶楽部)】 建物の真中辺りに日の丸がついた戦意高揚の垂れ幕が掛かっている。</p>	
5	<p>1 企業整備令により釧根地域の貨物自動車業者が統合され、釧根貨物自動車(株)が設立される。</p>  <p>【当時使われていた釧根貨物のトラック】</p> <p>8 大詔奉戴日(毎月8日)に釧路尚武会が「武装行進」を行なう。</p> <p>13 東北海道武道大会が旭国民学校で開催される。</p> <p>20 釧路市西部漁協と同東部漁協が統合され、釧路市漁協となる。</p>	
6	<p>1 音別村が北海道指定村となり、7名の参与が置かれる。</p> <p>1 港湾運送業統制令による「1港1社」統合で、港の雑貨荷役は釧路港運(株)・石炭荷役は釧路石炭運送(株)が設立される。</p>	<p>1 北海道1級・2級町村制廃止</p> <p>20 創価教育学会幹部21名検挙(～7/6)</p> <p>25 閣議、学徒戦時動員体制確立要綱決定</p>

<p>3 太平洋炭礦別保坑のガス爆発で朝鮮人坑夫7人が死亡する。</p> <p>9 鳥取村に町制が施行され鳥取町となり、初代町長に井原栄松が就任する。(鳥取村開村60周年の年でもあり、『鳥取町誌』が記念刊行される)</p> <div data-bbox="411 315 922 663" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">【発刊された鳥取町誌】 (左:表紙 右:目次)今では大変貴重な自治体史となっている。</p> <p>30 綴方連盟事件に判決が出され、11名が有罪となる。(1名獄死)</p>	
<p>7 25 湖畔国民学校の新校舎が完成し、移転する。</p>	
<p>9 .. 農業関係諸団体が統合されて、各市町村農業会が設立される。</p> <div data-bbox="587 945 1171 1223" data-label="Image"> </div>	<p>23 閣議、国内必勝勤労対策(車掌・理髪師等17職種の男子就業禁止、25歳未満女子を勤労挺身隊として動員)決定</p> <p style="text-align: right;">【釧路高等女学校生徒援農隊の休憩時間】</p>
<p>10 2 釧路商工会議所が北海道商工経済会釧路支部に改組される。</p> <p>27 大日本武徳会釧路支部設置記念弓道大会が開催される。</p> <p>.. 更科源蔵の詩集『凍原の歌』が出版される。</p>	<p>12 閣議、教育に関する戦時非常措置方策(学生の徴兵猶予停止、勤労働員等)発表</p> <div data-bbox="906 1335 1270 1720" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">【生徒動員態勢確立を伝える新聞記事】</p> <p>21 神宮外苑で出陣学徒壮行大会举行</p>
<p>11 10 釧路翼賛芸術聯盟文学部機関誌『郷土文学』が創刊される。</p> <p>14 城山国民学校が全焼する。</p> <p>17 尺別炭砒奥沢坑でガス爆発事故が起き、12人が死亡する。</p>	<p>1 鉄道省と通信省が統合、運輸通信省発足</p>
<p>12 1 音別村沿岸警備隊が結成され、警防団長が隊長に任命される。</p>	<p>21 閣議、都市疎開実施要綱決定</p>
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<p>.. 釧路の底曳網漁船45隻の内、約半数が徴用される。</p>	<p>.. 軍需物資増産の為、企業大整備</p> <p>.. 全国で労働争議292件・10,626人参加</p>

昭和19年(1944)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		26 東京・名古屋に防空法による初の疎開命令
2	.. 陸軍報道奉公隊釧路文学隊・美術隊・音楽隊 が結成される。	
3	15 道内無盡合同で北洋無盡(株)を設立し、釧路支店が開設される。 16 釧路沖で「日連丸」が米潜水艦に撃沈され約2,800人が死亡する。 .. 市立高女、庁立高女の勤労挺身隊が結成される。	6 全国の新報、夕刊を廃止(11/1~朝刊2頁) 28 農業団体法一部施行、産馬畜産組合を馬匹組合と改称
4	15 企業整備令により、釧根地域と美幌の乗合旅客自動車業8社が統合され、東邦交通(株)が設立される。 .. 国鉄の赤帽・入場券の発売・荷物一時預り業務が廃止される。	
5	31 市漁協や市場業務等が統合され、釧路漁業会が設立される。	16 三菱美唄炭砒でガス爆発、109名死亡
6	.. 市民運動会が翌年と併せて、2年間で中止される。	27 有珠山東の新成火山、昭和新山と命名
7	17 釧路食料品日用雑貨配給統制組合等の種目別配給統制組合が多数設立される。	7 サイパン島守備隊3万人玉砕
8	16 佐藤国司が3度目の市長就任で第8代市長となる。 .. 釧路炭田の8山(前年整理統合による)の内、太平洋・雄別・庶路は保坑、尺別・浦幌・本岐・白糠・新尾幌は休山となり、坑夫の殆どは九州(一部芦別)の炭山へ配転される。	4 閣議、国民総武装決定(竹槍訓練等開始) 4 東京都区部の初等科3~6年生、集団疎開
9	1 カトリック釧路愛児園が開設される。 21 極洋捕鯨釧路事業場が南浜町で操業開始する。  【極洋捕鯨釧路事業場】 この日、宮城県 <small>の</small> 捕鯨船が1万貫の大マッコウ鯨を水揚げした。 .. 仁々志別国民学校下仁々志別分校が開校する。	15 道内24地区小運送業、日本通運へ統合 30 神・仏・基30万人の宗教家、大日本戦時宗教報国会結成
10	1 庁立釧路保健所が幣舞町25番地に開設される。	
12		7 東南海地震(M7.9)、死・不明1,273人
(この年)		(この年)
	.. 大阪等の肥料工場が統合・移転され、日本肥料(株)釧路工場が材木町に設立される。 .. 企業整備で市内の造船所は釧路造船所(知人)・東日本造船所(浜町)・三ツ輪造船所(天寧)の3ヶ所となる。 .. 近海に米潜水艦が出没し、釧路港への入船が激減する。  【新富士海岸に設置されたトーチカ(防弾陣地)】	.. 全国で労働争議216件・6,627人参加 .. 米軍機の日本本土空襲激化  【防火訓練】 空襲に備え、釧路でも防火訓練が行われる